

第7号

# 北九州市教育委員会 幼児教育センター だより

〒806-0044  
北九州市八幡西区相生町20番1号  
TEL 093-641-2030  
FAX 093-641-2031  
令和8年1月8日 発行  
\*ホームページはこちらから

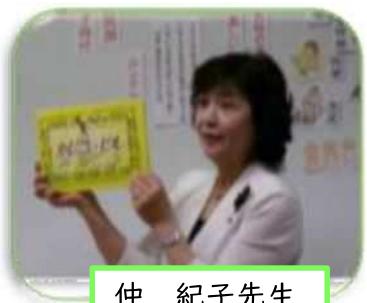


夕方オンライン講座 たくさんの方に参加していただき、ありがとうございました。

テーマ	講 師 (北九州市幼児教育アドバイザー等)
「読み聞かせから広がる読書の世界」 第1回 読み聞かせからはじまる読書習慣と本の選び方 第2回 子どもが自ら本を読むようになる読み聞かせの方法	ブックネットワーク北九州 代表 仲 紀子 先生
「多様な“個”が集う 幼稚園の強みを生かしたインクルーシブな保育」 第3回 子どもの育ち合いを支える保育 第4回 インクルーシブな視点に立った保育の捉え方	さいわい幼稚園 教諭 桐原 昌子 先生
「保幼小連携・接続について」 第5回 幼児教育の願い・小学校教育の願い 第6回 互恵性のある交流の実際	西南女学院大学 非常勤講師 大庭 正美 先生

## 《受講後の振り返りの抜粋》

今年度は、2回シリーズの全6回の講座を実施しました。参加した先生方の振り返りには、様々な気付きや学びがあったようです。



仲 紀子先生

○読み聞かせがなぜ大切なのか、その理由を子どもたちにぜひ伝えたいと感じました。また、大人が意図的に子どもたちを本と出会わせるとの重要性についても、改めて理解することができました。  
○読み聞かせの手順や、その手順を踏む意義について丁寧にご講話いただき、実際に、読み聞かせをしてみたいと思えるような、ワクワクする内容でした。また、仲先生の読み聞かせを聴かせていただき、先生の表情や語り口がとても素敵で、心が落ち着きました。

○インクルーシブな環境を実現したいと考えながらも、どのように進めていけばよいのか、模索していました。そんな中、本日の講座を受け、もっとシンプルに「お互いを認め合い、できないところを補い合えばいいのだ」と感じることができました。  
○「園庭は子どもたちのもの」という言葉がとても印象に残り、子どもが、してもよいことがたくさんあることに気付かされました。



桐原 昌子先生



大庭 正美先生

○これまで受け身の姿勢で幼小交流会に参加していましたが、今回の学びを通して、子どもの成長の橋渡しを意識しながら、主体的に交流することの大切さを実感しました。  
○講座を通して、来年度に取り入れてみたい活動のアイデアがいくつも浮かびました。「顔見知りを増やすことの大切さ」や「幼児期から児童期につながらないものはない」という言葉が、心強く感じられました。